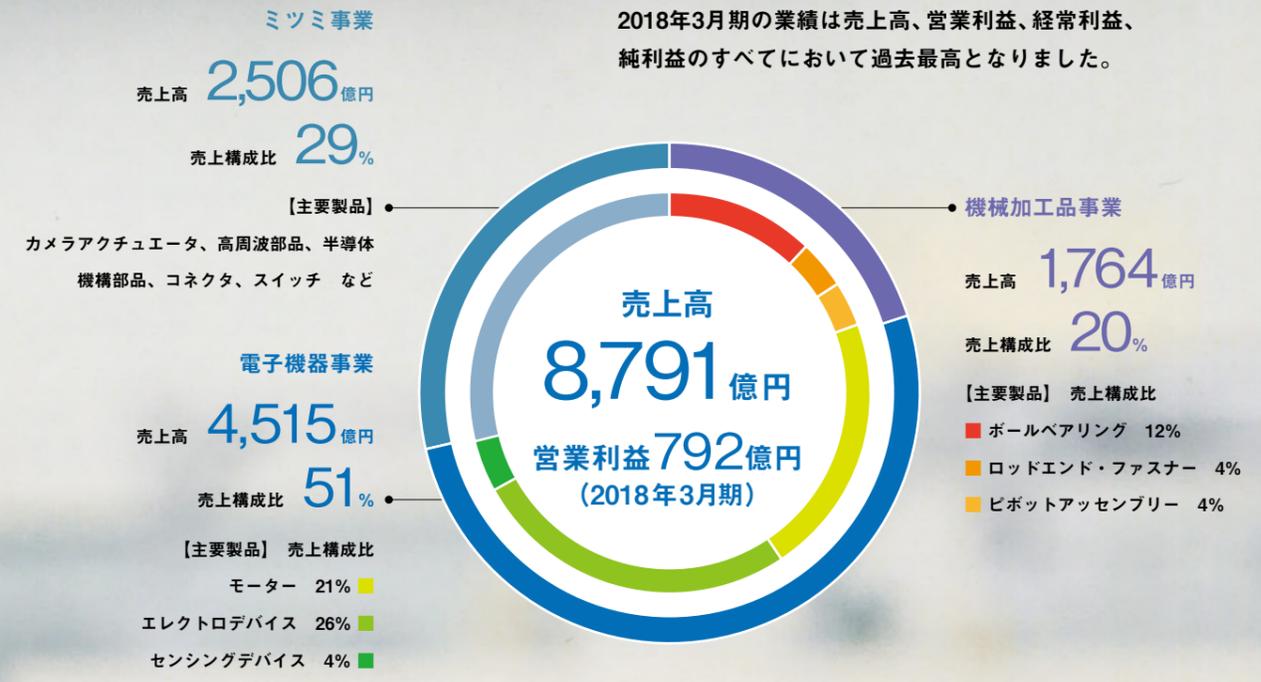


Passion to Create Value through Difference

これがミネベアミツミ——当社グループの経済価値

# 常識を超えた「違い」で オンリーワンのものづくりを実現する

ベアリングは動く機械には欠かせない「産業の米」と称されるほど重要な製品です。  
 ミネベアミツミは、中でも小型サイズに特化し、  
 外径22mm以下のミニチュア・小径ボールベアリングにおいて、世界で60%のトップシェアを誇ります。  
 さらに、ベアリングで培った超精密機械加工技術、大量生産技術をさまざまな分野に応用し、  
 世界市場で超高品質製品を生み出し、オンリーワンのものづくりを実現しています。  
 超精密機械加工技術を活かしたベアリングは、摩擦や抵抗を減らして機械の高効率・高寿命化を実現し、  
 省エネルギーに貢献しています。



## 世界シェアNo.1

ミニチュア・小径  
ボールベアリング

航空機用  
ロッドエンドベアリング

HDD(ハードディスクドライブ)用  
ピボットアセンブリー

リチウムイオン電池  
保護IC(1セル)

60%

50%

80%

60%

## 世界最小

ミニチュア・小径  
ボールベアリング

世界最小クラス  
ステッピングモーター

タクティールスイッチ

## 世界最薄

液晶用LEDバックライト用  
導光板

外径  
1.5mm

直径  
3.3mm

面積  
4.0mm<sup>2</sup>

厚さ  
0.3mm  
以下

Passion to Create Value through Difference

これもミネベアミツミ——事業を通じた環境・社会価値

# 幅広い先端技術とIoTの融合で「社会課題」の解決に貢献



モノとモノ、ヒトとヒトとがつながるIoT時代。ミネベアミツミは、事業ポートフォリオ中の要素技術をリコンビネーションすることで、融合／相合し、超精密技術とセンサー、コネクティビティなどの先端技術を組み合わせ、スマートシティ、ヘルスケアなど新たな市場に参入。機械・電子技術と制御技術を融合した、機電一体の「エレクトロ メカニクス ソリューションズ®」プロバイダーとして省エネルギー化、高齢化社会の労働負担低減などの社会課題解決に貢献します。

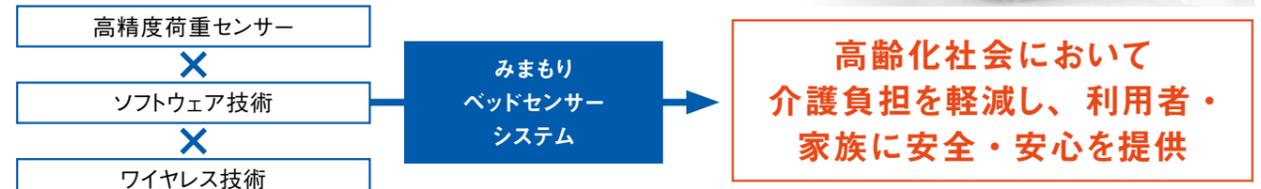
## スマートシティソリューション



高効率LED道路灯とワイヤレスネットワーク、センサーを組み合わせ、最先端のスマートシティソリューションを提供。カンボジアをはじめ、世界各地の都市で省エネルギー化、インフラ整備に貢献しています。



## ベッドセンサーシステム



少子高齢化による人手不足の中、高精度荷重センサー、ソフトウェア、ワイヤレスを組み合わせ、ベッド脚に設置するだけで、1つのシステムによってベッド上の人の位置・体動・参考体重などのバイタル情報を取得。利用者の快適・安全、ご家族の安心、介護従事者の負担軽減を実現します。



人体の微細な活動まで感知可能  
 業界トップクラスの荷重センサーの精度向上をさらに追求

非接触・非侵襲\*で体動、参考体重などのバイタル情報取得  
 \*苦痛を伴わないこと  
 独自でアルゴリズムを開発

みまもりベッドセンサーシステムを開発  
 ワイヤレス技術とソフトウェア技術を組み合わせ、PC・タブレットでモニタリング可能

## 超精密機械加工技術を中核に 常識を超えた「違い」で新しい価値を創造し、 持続的に成長します



2017年1月27日、ミネベア株式会社は、ミツミ電機株式会社の株主に対し、当社株式を1:0.59の比率で割り当て、ミツミ電機株式会社を当社の完全子会社化することにより両社の経営統合を行い、ミネベア株式会社の名称をミネベアミツミ株式会社に変更して新たなスタートを切りました。

新生ミネベアミツミ株式会社では、ベアリングに代表される超精密機械加工技術から、モーター、センサーや、半導体、無線技術に至るまで、幅広い技術を組み合わせ、常識を超えた「違い」で新しい価値をつくり、オンリーワンのものづくりを実現します。また、自動運転やロボティクスなどの次世代技術、最先端医療、スマートシティやインダストリー4.0に代表されるようなすべてのモノとモノがつながるIoT 社会に貢献するソリューションの開発を加速させ、中期事業計画である売上高1兆円・営業利益1,000億円の達成も眼前に迫っています。

事業規模拡大とともに当社のESGの取り組みなどに対する説明責任も高まっていることから、新たに「統合報告書2018」を発行いたします。「アニュアルレポート」でこれまで伝えてきた財務・戦略情報に加え、当社グループの価値創造の源泉や持続的な成長のためのアプローチなど、より中長期的な視点における当社グループの考え方を「価値創造ストーリー」としてまとめ、それに紐づく重要な非財務情報についても掲載しています。

当報告書が株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様にとって、当社グループの考え方をご理解いただく一助となれば幸いです。

代表取締役会長兼社長執行役員  
(Representative Director, CEO & COO)

貝 沼 由 久